



## 笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

## 5年生 林間学校

6月30日(木)・7月1日(金)と1泊2日で、相模原市立ふじの体験の森「やませみ」にて、5年生が林間学校を行いました。「みんなが仲良く、協力し、思い出に残るキャンプにしよう」という目標を掲げ、キャンプを通して目標を達成していくことを目指しました。

入所式の中で、施設の方から、仲良く、協力するためには、「自分から」考えて動くことが大切であるという話がありました。一つ一つの活動を振り返る時間をとり、「自分から」行動し、それが大きな力になっていることを各活動ごとにみんなで共有していきました。

「目標 - 活動 - 振り返り - 全体で共有」という一連の流れを大切に行うことで、友達と共に活動することを通して、子供たちの力が高まっていったことを感じます。

子供たちの感想の中に、「1位がとれて嬉しかったけど、みんなで楽しく活動できたことがよかった。」「楽しかったのは、友達のおかげ。追跡ハイクで見落とししていたポイントも、友達が気付いてくれた。みんなと協力できた。」「自分から行動しようと考えた。」「シーツやカバーのかけ方を、自分からみんなに伝えた。」「追跡ハイクでは、危ないから気を付けて。自分のところを歩いたらいいよ。と友達が声をかけてくれた。」「自然を感じる事ができた。みんなで協力することの大切さを学べた。」「みんなの仲が深まった。みんなで協力して楽しかった。」「ハプニングもあったけど、自分にとって一生思い出に残るものになった。」等、素晴らしい感想がたくさんありました。

施設の方から、「協力」というのは、「協」…

(小さな「カとカとカ」が「+ : たされて」), 「カ」… (大きな力になる) のだという話がありました。今までも小さな力を集めて、大きな力に変えてきていたけれど、一人一人が友達のために今まで以上に自分から力を発揮することができるようになり、さらに大きな力になる「協力」へとみんなを変えていくことができたこと、温かく、励みになる言葉をいただきました。

また、林間学校という大きな自然の恵みの中での活動を通して、SDGsの地球環境の視点と共に、社会問題解決にも繋がる話もいただきました。きれいな川での川遊びをした後に、自然環境は全て繋がっていることを教えていただきました。川のきれいさは、豊かな森林に支えられている→豊かな森林を守るために、根のしっかりした幹の太い木が必要であり、CO2削減のために下草も育てていくことが必要→明るい森林を作る→間伐する→大雨にも耐えられる森林が作られる→陸の豊かさが守られる(SDGs15)。川の中に生き物がたくさんいたことを目にした子供たち。川がきれい→生き物がたくさん育つ→海の豊かさへ(SDGs14)→人が食する→飢餓・貧困解決の一つに繋がる(SDGs1・2)との話に真剣に耳を傾けていました。また、全員が竹で箸を作りましたが、間伐した竹を生かしていること、「つくる責任・つかう責任」(SDGs12)に繋がる話もありました。食事の際も、川の水をきれいに保つために、食器をふき取ることも行いました。豊かな自然の中での様々な体験を通して、SDGsについても学ぶことができました。

たくさん学びを今後の生活の中で生かしてほしいと願っています。